

米原歴史文化街道

米原市の歴史・文化財を歩く 170

顔戸遺跡群の発掘調査成果について ―市道顔戸・八田羽織線の新設工事に伴う発掘調査―

顔戸遺跡群は、米原市顔戸・高溝に所在し、琵琶湖の北東部を南北に伸びる横山丘陵の南西裾部に位置しています。顔戸遺跡群は、南北方向に連続する長門寺遺跡、正光寺遺跡、顔戸遺跡、高溝遺跡で構成されています。

米原市では、県道伊部近江線と県道東上坂近江線を南北で繋ぐ市道顔戸・八田羽織線の新設工事が計画され、工事に先立ち、令和元年度から継続的に発掘調査を行っています。

今回は、これまでに実施した長門寺遺跡、顔戸遺跡、高溝遺跡の発掘調査の成果について、それぞれご紹介したいと思います。

長門寺遺跡の調査成果

長門寺遺跡は、令和元年7月9日から9月26日にかけて発掘調査を実施しました。この調査で、弥生時代の方形周溝墓2基、古墳時代の土坑1基などが見つけられました。



写真1 長門寺遺跡全景

方形周溝墓からは、年代を特定できる遺物が出土しなかったことから、詳細な年代は不明ですが、平成2年に実施された顔戸会館建設工事に伴う発掘調査で見つかった方形周溝墓と同一の主軸方位を持つことから、これらは同時期および同一主体による築造が想定されます。

古墳時代の土坑からは、甕や壺、甗などの土師器のほか、坏や高坏、器台などの須恵器が出土しました。これらの遺物は、5世紀末から6世紀初頭の頃のものと考えられます。土師器は、在地で焼かれたものが多数を占めますが、中には東海地方から運ばれてきたとみられる甕も出土しています。

上記の遺物のほかに、調査区の北端で沼跡を確認しました。平成元年に長門寺遺跡の南側に、広範囲にわたる試掘調査が実施され、その際、同遺跡の南側で沼の堆積が確認されています。

今回の調査とその試掘調査の成果を踏まえて考えると、長門寺遺跡の南北には沼沢地が広がっていたとみられ、北側と南側を沼沢地で囲まれた、横山丘陵から伸びる古状の台地上に、弥生時代は墓域が営まれたと推測されます。

顔戸遺跡の発掘調査は、令和2年11月9日から11月18日までと令和3年10月21日から11月5日までの2回に分けて実施しました。

顔戸遺跡の調査成果

この調査では、古墳時代の竪穴建物1基とその建物に伴う溝1条、東西に伸びる溝2条を確認しました。また、詳細な年代は不明ですが、ピット(穴)を14基検出しました。



写真2 竪穴建物

今回の調査で出土した遺物の多くは、竪穴建物と溝から出土しており、古墳時代の遺物が大半を占めています。そのほかには、ピットから土師器の破片などが出土しています。

これまでの調査で、大溝遺構を伴う集落跡が確認されていますが、今回の調査で、古墳時代の竪穴建物、溝、ピットが見つかったことから、この集落が従来の想定より南に広がっていることが確認できました。

高溝遺跡の調査成果

高溝遺跡は、令和4年5月10日から6月13日にかけて発掘調査を実施しました。この調査では、古墳時代から古代にかけて存在したとみられる沼跡が見つかりました。



写真3 遺物出土状況

この沼跡は上下2層に分かれ、下層からは古墳時代前半の土師器が主に出土し、上層からは飛鳥時代の須恵器や古代の平瓦の破片などが出土しました。また、沼の上面でピット3基が見つかったっており、沼の廃絶後、この地に建物が建てられたとみられます。

出土遺物は、沼跡から出土した古墳時代から古代にかけての土器が大半で、そのほかにはピットから土師器、須恵器の破片が出土しています。また、土器以外の遺物として、モモの種が見つかったっており、このモモの種を炭素年代測定法で分析したところ、4世紀中頃のものであるということが分かりました。

これまでの調査により、高溝遺跡では、古墳時代の大溝遺構を伴う集落の存在が確認されましたが、今回の調査により、この集落の北側には、沼沢地が広がっていたことが明らかとなりました。(生涯学習課)

消費生活相談コーナー

パソコン使用中の警告表示と警告音に注意!

パソコンの画面に、ウイルスに感染したという警告表示と大きな音が出て、慌てて画面に表示された番号に電話をかけると、サポート代を請求された。

消費生活相談員より一言

偽のウイルス感染警告で脅し、サポート代やセキュリティソフト代を請求する手口です。偽の警告か判断が難しい場合は、画面はそのまま(独)情報処理推進機構の安心相談窓口※に相談してください。

※IPA情報セキュリティ安心相談窓口

☎03-5978-7509 平日10時～12時、13時30分～17時



「おかしいな」と思ったら、一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)

相談専用 ☎53-5110

(受付) 平日 9時30分～16時

米原警察署情報

米原警察署 ☎52-0110

夏期における水難・山岳遭難等の防止

湖川や山での事故を防ぐため、安全第一でレジャーを楽しんでください。

★水辺で遊ぶ人へ

- ・ 疲れているときや飲酒後は、水に入らない。
- ・ 増水の恐れがあるときは、水辺に近づかない。
- ・ 水泳をするときは、十分な準備運動をして、ときどき休憩する。
- ・ 子どもだけで水辺に行かせず、また子どもから目を離さない。

★登山をする人へ

- ・ 家族や知り合いなどに登山スケジュールを知らせ、登山届を提出する。
- ・ 日帰りでも装備をしっかり整える(水分、カップ、携帯電話予備バッテリー等)。
- ・ 登山前は体調管理に努める。



令和5年市内交通事故数(5月末時点)

件数 22件(-15件) 死者 1人(+1人)
傷者 28人(-22人) ※()内は前年比